

【 下水道使用料が値上がりします 】

下水道事業は平成 2 年の供用開始後、使用料の見直しを行わずに現在に至っています。現在、その使用料では下水道事業に関する費用の 6 割強しか賄えていません。赤字分(約 3 億円)は、毎年、下水道普及地域でない世帯からの税金も含む一般会計からの繰り入れで運営されています。

今後、この繰り入れが町の財政に大きな負担となることなどから、値上げすることになりました。

この値上げにより事業の約 7 割を使用料で賄えることになり、約 2000 万円赤字が縮小されます。

— 使用料の早見表(単位「円」) —

	改正前	改正後	差額
10m ³	756	756	0
15m ³	1188	1188	0
20m ³	1620	1620	0
25m ³	2052	2106	+54
30m ³	2484	2592	+108
35m ³	2970	3132	+162
40m ³	3456	3672	+216

【 第 5 回後援会主催バス旅行 】

毎年、満員御礼となっている大橋よしひさ後援会主催のバス旅行を 4 月 15 日(金)に行います。

多くの方のご参加をお待ちしています。

※詳細は次号お知らせいたします。



【 大橋よしひさ町政報告会 】

大橋よしひさ第 18 回町政報告会を次の通りに行います。

ゲストには、吉良英敏県議をお迎えしての県政報告も予定しています。また、報告会終了後、懇親会も予定しています。今回の会場は高野農村センターになりますのでご注意ください。

【報告会】 1/23(土)

時間:10:00~12:30 頃

場所:高野農村センター

ゲスト:吉良英敏県議



【懇親会】 1/23(土)

時間:13:30~16:30 頃

場所:まねきねこ杉戸店

会費:1,000 円強



【 大橋よしひさ(35歳)プロフィール 】

- ・ 杉戸町生まれ。杉中、越谷北高校、明治大学卒。 ・ 趣味 読書
- ・ 学習塾・向学館塾長。現在 30 名が通塾しています。←ホームページ開設
- ・ 消防団(第 2 分団)所属、商工会青年部加入、地域の一員としても活動しています。

知! **30,721 人**

下水道普及地域に居住する人口です。普及率で換算すると 66.09%になります。

杉戸町議会議員

平成 28 年 1 月発行

大橋よしひさレポート

発行部数 11,000 部

第 30 号



発行元：大橋よしひさ後援会

自宅：[杉戸町内田 3-9-5 / 34-7392]

e-mail：yoshihisa.ohashi.sugito@hotmail.com



ホームページ開設!!

大橋よしひさで検索!

ブログも更新中!

ごあいさつ

昨年の夏、暑い時期に行われた選挙に当選し、2 期目を迎えることができました。選挙戦を通じて温かなご声援を賜りました。私に対する期待の大きさを感ずると同時に、私の力がまだまだ不足していることを感じました。今まで行ってきた活動を継続、充実させ、そして何より現場を重視することで、みなさまの声を町政に反映し誇れる町杉戸をつくるために 2 期目の任期を全うしたいと考えております。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

杉戸町議会議員 大橋よしひさ

町の基本指針、総合振興計画後期基本計画策定!

杉戸町のまちづくりは、現在「第 5 次杉戸町総合振興計画」をもとに進められています。これは、前期と後期に分かれて計画されていて、今年度で前期が終了となることから後期も継続してこのまちづくりを行うために、後期基本計画が策定され議会に諮られました。土地の利用方針について審議がありましたが可決しました。

引き続き、「手を取り合い 未来を築こう
みんなでつくる 心豊かに暮らせるまち 杉戸
~住みごこち 100%のまちづくり~」をキャッチフレーズにまちづくりを進めていくことになります。



知!

このコーナーでは、杉戸町のミニ情報をお届けします。

大橋よしひさ町政に問う！

＜ デマンドバスの運行を ＞

デマンドバスとは…利用者の希望する地点まで迎えにいき、希望する地点で降りることが出来る乗合い型のバスのこと。巡回バスなどとは違い路線を定めず運行するため、自宅まで迎えにきてくれてドアツードアでの移動が可能になるなど、効率的な運行が可能になる。一方で利用料金が高くなる、事前に予約が必要となるなどの面もある。

大橋問:白岡市では交通不便地域(駅から半径1km、バス停から半径300m圏外)に住む住民の数を把握しているが、町内における交通不便地域に住んでいる町民はどのくらいか。
住民参加推進課長答:把握していない。白岡市では国庫補助金を通じて実態調査している。

大橋問:杉戸町ではその国庫補助金を使えないのか。
住民参加推進課長答:細かくは把握していないが、新たに地域公共交通を実施する団体を対象としているため、使えないのではないかと聞いている。

大橋問:27年末に行うアンケートで、デマンドバスについての質問がたったの2問だけあるが、このアンケートの結果でデマンドバスの需要を見極めるのか。
住民参加推進課長答:アンケートにより需要なども把握できればと考えている。

大橋問:「デマンド」という言葉をまだ知らない人が多いから、「デマンドバス」への機運が高まらないのは当たり前。巡回バスに代わるもの考えるのは、町民の仕事ではない。住民に対してニーズが高まる前にサービスを考え提供するのが、職員の仕事である。その点からもデマンドバスを運行するべきでは。
住民参加推進課長答:重複となるが住民の意向を踏まえた上で進めていきたい。

大橋問:幸手市でも27年10月よりデマンドバスの運行が始まったが、状況は。
住民参加推進課長答:1か月で、登録者数1,758人、利用者数は延べ580人である。

その他、ウォーキングのさらなる普及を、アグリパークのさらなる活性化について質問しました。



知！ 22,232人

平成26年度に巡回バスを利用した人数です。

【杉戸町の2016年は…】

～ 日光街道杉戸宿開宿400周年！ ～

杉戸宿は1616年に日光街道5番目の宿場町として開宿して以来、2016年で開宿400年を迎えます。これを機に観光客の誘致などを行い、町おこしのきっかけにするために、現在町では杉戸宿めぐり、案内板の設置などさまざまな事業を行っています。

12月6日、イベントとして「宿場まつり」を開催し、神輿渡御、コスプレ、町人行列などを行い、最後は400周年を盛大に迎えられるよう400個の風船を空に放ちました。当日は1万人を超える人出でにぎわいました。なお、400周年の記念イベントは10月30日(日)に開催することが決まりました。



私も商工会青年部の一員として飛脚姿で町人行列に参加しました。(写真右・島田副町長と)

～ 統合幼稚園・保育園開園！ ～

旧給食センター・旧シルバー人材センター跡地に、2016年4月統合幼稚園・保育園が開園します。今、園舎では3月上旬の完成に向けて年末年始もほぼ休みなく急ピッチで工事が進められています。園舎は埼玉県産の木材を使った平屋の木造建築となります。この試みは、NHKなどで放映されるなど、全国的にも注目を集めています。

施設の名称は、町民にとって親しみやすい施設になるよう、「すぎと幼稚園、すぎと保育園」とすることが決まりました。



工事中の園舎です。27年12月17日に視察をしました。木造の親しみやすさを感じました。

知！ 1,200万円

巡回バスの経費(平成27年度予算)。一方、運賃収入は約150万円。事業としては1,000万円強の赤字となっています。